

## 床タイル(ビニル床タイル・ラバータイル) 注意事項

### 選択上のご注意

防滑性マークは、製品の防滑性を示す目安です。履物や歩行状態、水濡れや砂の持込み、使用したワックスの種類など環境によって大きく左右されます。選択の際の一つの目安としてご利用下さい。詳細は本カタログ500頁をご参照下さい。

機能別インデックスを参考に、建物の用途・環境に応じた製品を選択して下さい。

- 暗所、アルカリ性雰囲気、高温多湿環境下において、床材の変色が発生する場合があります。これらの条件が揃わないように注意して下さい。そのような箇所へ床材を施工する際には、発生しても目立たない暗色系のご採用をおすすめします。
- NWシリーズ、NW-EXシリーズ及び防滑性床材は、製品の特性上、素足や靴下での歩行時に素材表面がひっかかる事があります。上靴、スリッパ履きで使用する事をおすすめします。
- 歩行マークは製品の耐久性を示す目安です。歩行マーク以上の使用は避けて下さい。詳細は本カタログ495頁をご参照下さい。
- 下地から絶えず湿気の上昇が予想される場所では使用を避けて下さい。接着不良や臭気が発生する事があります。
- 建築基準法・消防法によって、使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認下さい。
- 淡色系・無地調の床材ほど濃色系に比べて汚れが目立ちやすくなります。また、フラットな表面形状に比べてエンボスが深いほど汚れが残りにやすくなります。ご留意下さい。
- リサイクル材を使用している製品は、裏面の色や裏面の仕上がり状態にバラツキが生じる事があります。リサイクル材を使用する事による品質への影響はありません。
- コンポジションビニル床タイルは製品の特性上、タイルの角が若干丸みを帯びる事があります。
- 床タイルは熱に弱い性質を有しています。摩擦熱等により、床面に変色、変形が生じる事があります。
- 本カタログの掲載写真の一部に合成写真を含みます。
- 本カタログ掲載の写真や画像は、現物と若干違いのある場合があります。ご採用の際には必ずサンプル帳などでご確認下さい。

### 施工上のご注意

#### ■ 施工前

- 施工の前に「東り施工マニュアル」をご一読下さい。

施工中は、他業種による汚損・事故の発生を防ぐために、床工事関係者以外の立ち入りを禁止して下さい。

有機溶剤を含んだ接着剤を使用する場合は、火気に注意し、室内の換気に心掛け、有機溶剤作業主任者立ち会いのもとで行って下さい。有機溶剤は、引火しやすく、また多量に吸入すると人体に影響を及ぼす可能性があります。

下地は湿気のない平滑かつ堅牢なものとし、適切な施工環境を維持して下さい。施工条件を順守しなかった場合、目地スキや突上げ、剥がれなどを招く可能性があります。いずれも、美観を損ねるだけでなく、転倒事故などの原因になります。詳細は「東り施工マニュアル」をご参照下さい。

- 下地に段差・隙間・凹凸のある場合、その程度によってタイルの表面に目立って現われる場合があります。
- 梱包ケースに記載されている品名・品番・ロット・数量を確認の上、施工を開始して下さい。同一床面上は、同ロットで仕上げて下さい。
- 既設床への重ね貼りは、膨れ、伸び、突上げなどを招く可能性があります。詳細は「東り施工マニュアル」にてご確認下さい。
- 施工の際はタイル裏面の矢印が点線等で流れ方向をご確認下さい。方向が変わると色差のように見える事があります。
- 若干寸法にバラツキがあります。施工の際にはご留意下さい。

#### ■ 施工中

- タイル一枚一枚の色柄に変化と濃淡があります。この不均一感が、仕上がったフロアにより一層の自然感をもたらします。同じ色調のタイルがたよった場合は、部分的に差替える事で違和感なく納まります。
- 下地にワックス、グリス、油類、塗料などの汚れが残っていると、接着不良や汚染を発生させる可能性があります。完全に除去した上で施工を開始して下さい。
- 木質系下地に使用の際は、下地継ぎ目部の段差を十分に補修して下さい。タイル表面が平滑なタイルほど下地の段差が目立ちやすくなります。
- 床タイルは室温になじませてから施工して下さい。室温と床タイルに温度差があると、施工直後だけでなく、後日、目地スキ、突上げなどをおこす可能性があります。
- 接着の際は、製品の指定接着剤を使用し、5mmピッチのくし目ごてで均一に塗布して下さい。

#### ■ 施工後

- 施工後はローラーで全面を圧着して下さい。圧着不良は、接着不良につながり、後日、床タイルの反り、突上げ、剥がれなどが生じる事があります。
- 施工直後に養生シートを使用した場合、床タイルとシートの間に結露水や水蒸気・溶剤蒸気などがこもり、床タイルの反り・突上げなどが生じる可能性があります。養生シートは、接着剤が充分硬化してから使用して下さい。
- 養生シートをとめる際、粘着テープは直接床材に貼付けしないで下さい。床材を汚染する原因となります。
- 施工後、一週間は、直射日光や水洗い、冷暖房などによる急激な温度変化、重量物やキャスター椅子などによるしごきなどは避けて下さい。突上げ・目地スキ・剥がれ・へこみ跡などを発生させる可能性があります。特に冬季は接着剤の硬化が遅いので充分な養生期間をとって下さい。

施工後、残材等を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。床タイル・ラバータイルを燃やすと有害ガスが発生します。

#### タフテックタイルのご注意

- カット作業に時間が掛かります。切込み作業には、一般の軟質ビニル床タイル施工の約2倍の時間が掛かります。ご留意下さい。
- 施工時は保護手袋を着用して下さい。素手で取扱うと端部で手を切るおそれがあります。カットしたタイルの端面も硬く鋭利になっています。
- 冬期は、ジェットヒーター等を使い室温を上げ、室温10℃以上の環境で施工して下さい。低温では、タイルが硬くなり、目違いや収まり不良などを発生させる事があります。
- 切込み筋に沿ってタイルを割る際は、保護メガネやマスク等を付けて下さい。破片が飛び散る事があります。
- タイル2辺の目地が特殊面取り加工されている為、タイルを貼る方向を揃える必要があります。タイル裏面の矢印を揃えて同方向に貼付けて下さい。

## 床タイル(ビニル床タイル・ラバータイル) 注意事項

### メンテナンスならびに使用上のご注意

#### ■ メンテナンスのご注意

- メンテナンス用ワックスの上にアルコールが滴下すると表面が白くなる場合があります。アルコールが直接床面に滴下しないように注意して下さい。
  - メンテナンスは、必ず指定のワックスまたは同等品により定期的に行って下さい。特に初期メンテナンスでは、タイルの表面をアルカリ洗浄剤で十分に洗浄し、よくすすいだ後ワックスを塗布して下さい。ワックスは床タイルの汚れを防ぎ、美観を保持します。詳細は本カタログ513頁をご参照下さい。
  - 施工後、養生期間をおいてから洗浄剤でポリッシャー洗浄し、よくすすいだ後に樹脂ワックス(ニューFBワックス・Uワックス・ツヤノンワックス(抗菌))を塗布して下さい。(ラバータイルは「ラバータイル用ワックス」を塗布して下さい。)特に初期メンテナンスでは、タイル表面を十分に洗浄した後ワックスを塗布して下さい。状況に応じて、固く絞ったモップでの水拭きによる1日の清掃回数を増やすなど、日常のメンテナンスにご留意下さい。
  - 表面がフラットな製品はスリ傷が目立ちやすい特性があります。必ずメンテナンスワックスを塗布して下さい。
- ※「NWシリーズ」「NW-EXシリーズ」はメンテナンス方法が異なります。下記「NWシリーズ・NW-EXシリーズ」メンテナンス情報をご参照下さい。

#### NWシリーズ・NW-EXシリーズ メンテナンスのご注意

- メンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。日常的にモップ、固く絞った雑巾などでヒールマーク等の汚れを取除いて下さい。目地に沿った清掃をおすすめします。
- 取れにくい汚れには中性洗剤を使用して下さい。日常清掃の際は、固く絞ったモップ、雑巾で汚れを取除いて下さい。
- 面積の大きな施設では、洗浄力の優れた自動床面洗浄機を推奨いたします。
- 高耐久UV樹脂コーティングが摩滅してしまうため、ドライメンテナンスは行わないで下さい。

※「NW-EXシリーズ」はワックス液をはじいてしまうため、ワックス塗布には指定の前処理が必要になります。詳細は各製品のユーザーズマニュアルをご参照下さい。

- 「NWシリーズ」はワックスメンテナンスを行っても、品質に問題はありません。

※「NWシリーズ」にワックスメンテナンスを行う場合  
施工後、養生期間をおいてから洗浄剤で洗浄し、よくすすいだ後に樹脂ワックス(ニューFBワックス・Uワックス・ツヤノンワックス(抗菌))を薄くムラなくモップで塗布して下さい。その際、床に直接ワックスを撒く方法は避けて下さい。補修等で部分貼替えの後、ワックスを塗布すると既設タイルとの間に光沢差が生じる場合があります。

#### ■ 使用上のご注意

水濡れや砂が飛散した状態では、滑りやすくなり、転倒事故を招く可能性があります。土砂の持込みなどが予想される場所では、泥よけマットなどを出入口に設置し、室内に土砂が持込まれないようにして下さい。持込まれた際には即座に除去するようにして下さい。摩擦・傷付きを防ぎ、美観を保持するだけでなく、寿命を延ばす効果があります。

水・砂・紫外線・重量物・汚染物質・化学薬品・火山灰などの影響で、床材自体の変質・変退色や、施工後の膨れ・剥がれ・目地スキなどを招く場合があります。充分ご留意下さい。剥がれ、反り、膨れなどが生じた場合は、即座に補修して下さい。放置しておくとも全体に影響が及び、美観を損なうほか、転倒事故の原因となります。詳細は「東り施工マニュアル」をご参照下さい。

- 熱によって変退色・溶融する可能性があります。たばこや、車輪の摩擦熱、火花の飛び散りなどは避けて下さい。
- 温風ヒーター吹出口にはマットを設置するなどして、温風が直接タイル表面に当たる事を避けて下さい。
- 化学薬品や強い作用を持つ洗剤、漂白剤などにより、変退色や変質を招く可能性があります。こぼさないようにして下さい。
- ある種の家具の脚ゴムやゴムマットなどのゴム製品、塗料、防腐剤、防虫剤などによって汚染され変退色を招く可能性があります。これらに直接触れないようにして下さい。
- 重量物や車輪によるしごき、ハイヒールや家具などの局部荷重により、床材の表面にキズや膨れ、へこみ跡が生じる可能性があります。
- 建物の出入口には、必ず除塵マットを設置して下さい。(砂、砂利等で表面に傷がついてしまった場合、汚れが傷に入り込んでしまい、汚れ落ちが悪くなります。土砂の持込みの可能性がある路面に面した部位で使用される場合は、除塵性の高いマットをできるだけ広い面積で設置して下さい。)
- 長時間水に濡れた状態にしておくと、吸水して白化するおそれがあります。乾いたモップ等で拭取り、乾燥した状態でお使い下さい。
- タイルの目地部が水などで濡れた場合は水分を拭取って下さい。特に木質系下地の場合は、水分の影響により下地を傷める原因になる事があります。
- 長時間の直射日光による変退色、長期間使用しない室内での結露によるカビや異臭の発生、床材の剥がれ・反り・膨れ・突上げの可能性があります。日よけや換気を心がけて下さい。
- ビニル床材の上にホットカーペットを直に敷かないで下さい。ホットカーペットは裏面でも温度が上昇するため、長時間同じ場所に敷いていると、ビニル床材の変質・変色の原因になります。電気機器メーカーの使用上の注意をご確認いただき、ホットカーペットの熱がビニル床材へ直接伝わる事がないようにご留意下さい。
- 光源により見え方が変わる事があります。ご留意下さい。
- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけて下さい。

#### 運搬ならびに保管上のご注意

床タイルは梱包を解かずに、平坦な場所に保管して下さい。積載は70cmまでを限度とします。積み過ぎや、長時間にわたる直射日光や高温状態での暴露、雨水などによる水濡れは避けて下さい。変形・変退色・変質の原因となります。

次ページへ続く